

記事投稿は、支部長又は荒谷直政(メール stngxyf8323@mc.pikara.ne.jp)までお願いします。

丸亀支部「第1回陶芸教室」を実施

宮松 敏 会員 (陶芸歴44年)

の指導を受け、作品作りに没頭

丸亀支部は、1月29日(日)午前10時から午前12時までの間、丸亀支部第1回陶芸教室を宮松 敏 会員 教室(川西町:無名窯)において実施した。



参加会員6名が宮松会員の指導(アドバス)を受けながら電動ロクロや手回しロクロを使い、各々が出来上がりのイメージを描きながら作品作りに没頭した。

引き続き、次回の陶芸教室(2月19日)では、次のステップ(絵付け作業、焼き付け作業等)へ入る予定です。



なお、本陶芸教室参加者の力作等につきましては、「支部だより4月号」で紹介したいと思っています。(こうご期待!)



○宮松 敏会員 陶芸歴について

- 1973年(昭和48年) 沖縄胡差焼にて
陶芸家 国井賢山に師事
- 1983年(昭和58年) 備前焼にて
陶芸家 中尾 晃に師事
- 1989年(平成元年) 兵庫県丹波焼にて研修
- 1995年(平成7年) 帰郷 自宅に開窯(無名窯)
現在に至る。

そして作品作りに集中した後は、素敵な囲炉裏テーブルを囲みつつ井戸端会議を実施。宮松会員が準備して下さったお菓子やミカン、そして豆からひいた美味しいコーヒーを頂きながら参加会員一同、情報交換を実施。



陶芸教室参加者紹介
大西支部長、宮崎、鳥生、西岡(弘)、武田、松永会員の6名が参加。

「第2回陶芸教室」を実施

2月19日(日)午前10時から第2回陶芸教室を実施。

今回の作業は、前回の教室後、素焼きされた作品に釉薬を塗布する作業を実施した。宮松先生から釉薬、撥水剤の塗布の要領、各種釉薬の説明を受けた後、各会員の好みに応じた釉薬を塗布し作業を完了。作業時間は、約1時間ほどであった。作品は、後日、宮松先生により窯に入れ焼いてもらうことになった。どのような作品に仕上がるか、楽しみである。作品は、後日皆様に紹介します。



鳥生会員が、大久保駐屯地勤務時、陶芸クラブを結成、平成13年頃作成した自慢の沖縄シーサー大小二対を披露していただきました。

【経歴】

昭和60年 竹琳軒 大師範
昭和37年 入門、43年 大師範
昭和28年 入門、32年 大師範



赤松義弘様受賞!!
2月15日、尺八都山流宗家(本部京都)から尺八師匠として60年継続の功により表彰されました。誠に御目出度うございます。今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。